

(別紙4-1)

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

| | | | |
|---------|-------------------|------------|-----------|
| 事業所番号 | 0175400365 | | |
| 法人名 | 特定非営利活動法人 ありがとう | | |
| 事業所名 | グループホーム ありがとう | | |
| 所在地 | 紋別郡遠軽町西町2丁目1番地218 | | |
| 自己評価作成日 | 平成24年2月20日 | 評価結果市町村受理日 | 平成24年5月6日 |

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

| |
|--|
| |
|--|

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

| | |
|-------------|---|
| 基本情報リンク先URL | http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=0175400365&SCD=320&PCD=01 |
|-------------|---|

【評価機関概要(評価機関記入)】

| | |
|-------|-----------------|
| 評価機関名 | 有限会社 NAVIRE |
| 所在地 | 北海道北見市本町5丁目2-38 |
| 訪問調査日 | 平成24年3月28日 |

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

| |
|--|
| <p>当事業所は閑静な住宅街に位置した平屋造りの2ユニットとなっています。平成23年7月に1号棟と2号棟を結ぶ通路が完成し今まで以上に交流し易くなっています。ホーム裏は山菜などが採れる山があり自然に恵まれた環境にあります。1号棟と2号棟の建物は異なった造りとなっていますが、共用空間は広々として彩光よく明るく家庭的な雰囲気となっています。開設当時の理念『安心して自由に主人公として』を基本とし年度初めに理念を掘り下げて職員全体で話し合い理念の見直しを行っており23年度は『チームをより意識した介護を行う』お互いに支えあう、助け合う、一人で介護をするさせるのではなくチームでやる意識を強く持つ。どうしたらスタッフ同士、よりスムーズな情報のやり取りが出来るか工夫する。の理念のもと日々のケアの実践に努めています。利用者が自宅へ外出や宿泊が出来るよう配慮し支援に努めています。地域の知人が来訪し交流したり、ドライブ、外食、買い物など利用者の想いを汲み取った取り組みがなされています。</p> |
|--|

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

| 項目 | | 取り組みの成果 ↓該当するものに○印 | | 項目 | | 取り組みの成果 ↓該当するものに○印 | |
|----|--|-----------------------|---|----|---|-----------------------|---|
| 56 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25) | 0 | 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない | 63 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目:9,10,19) | 0 | 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない |
| 57 | 利用者や職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38) | 0 | 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない | 64 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20) | 0 | 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない |
| 58 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38) | 0 | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 65 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4) | 0 | 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない |
| 59 | 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37) | 0 | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 66 | 職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12) | 0 | 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない |
| 60 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49) | 0 | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 67 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う | 0 | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない |
| 61 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31) | 0 | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 68 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う | 0 | 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない |
| 62 | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28) | 0 | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | | | | |

自己評価及び外部評価結果

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|-------------------|------|--|---|---|---|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| I.理念に基づく運営 | | | | | |
| 宇 | 1 | ○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている | スタッフ全員が理解し、日々実践に努めています。 | 開設当時に『安心して、自由に、主人公として』との想いから作り上げた理念を基本に、年度初めに管理者と職員で理念を見直し、理念の実践に向け日々ケアサービスに努めています。 | |
| | 2 | ○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している | 自治会にも入会し、近隣の方々と交流をしています。 | 花壇整備や廃品回収などの町内行事に、地域の一員として積極的に参加しています。毎週お話ボランティアの来訪もあり、日常的に挨拶を交わす等交流を図っています。 | |
| | 3 | ○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている | 運営委員にも地域の方になって頂き協力頂いています。又、入居希望の方も地域の方が申し込まれています。 | | |
| | 4 | ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 運営会議は当施設で行い、状況を見て頂きご意見を頂いています。 | 運営推進会議は、家族代表、町職員、包括支援センター職員、地域住民等が参加し、行事報告・身体状況等話し合われサービスの向上に繋がっています。 | 会議の定期開催を目指すと共に、多数の家族の出席や会議内容を家族全員に配布するなどの情報の共有と、運営推進会議の討議を活かしたホーム運営の向上を期待します。 |
| | 5 | ○市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる | 入居申し込みの際には、地域包括支援センター、町村担当者とは相談しご意見などを頂いています。 | 運営推進会議に包括支援センターの職員や町保健福祉課職員・保健師が参加し常に連携を図りながらサービスの質の向上に取り組んでいます。 | |
| | 6 | ○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 身体拘束の注意事項は、新人研修、施設に提示しスタッフは十分理解していると思います。 | 身体拘束廃止の基本方針等について見易い場所に提示し、内部研修として身体拘束や虐待について文書回覧するなど職員の意識向上や身体拘束をしないケアの実践に繋がっています。 | |
| | 7 | ○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている | 身体拘束と同様に、十分に理解しスタッフ同士互いに、注意、報告するようにしています。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|---|--|--|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 8 | | ○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している | 前年度からの課題であり、研修する機会を設けたい。 | | |
| 9 | | ○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又はや改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている | 契約、解約の時でも時間をかけた説明し理解をいただいています。 | | |
| 10 | 6 | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | 家族による要望は、ケアマネジャーを窓口にし、スタッフ等と意見交換し行動しています。 | ホーム通信『ありがとう通信』や家族来訪時を活かし情報をきめ細かく提供し、家族からの意見・要望を汲み取るよう心掛け信頼関係を築くよう努め運営に反映しています。 | |
| 11 | 7 | ○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている | 施設長が窓口となり、職員の意見や提案を聞き運営に反映している。 | 管理者は日常の業務を通じ、積極的に職員の意見を聞き運営に反映しています。 | 職員の意見・要望が言い易いようミーティングの活発な活用や、自己評価作成時に職員の意見を反映しケアの向上に向けた取り組みを期待します。 |
| 12 | | ○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている | 各自の環境に応じて勤務時間、勤務日を収集し勤務表を制作し、交付金の申請もし給与にも反映しています。 | | |
| 13 | | ○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | スキルアップのためヘルパー試験や、町内で行われている研修会にも参加しています。 | | |
| 14 | | ○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 近隣施設の担当者と連絡をとり、情報交換をしています。職員同志の交流までには至っていません。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|-----------------------------|------|---|---|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 15 | | ○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている | 面談には時間をかけ、本人の希望を聞くようにしている。 | | |
| 16 | | ○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている | 本人説明の時と同様に、家族に際しても話し合いをもうけ要望を聞くようにしている。 | | |
| 17 | | ○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている | 本人の生活状況などを確認し、希望される事柄においては、出来るだけ対応したいと考えています。 | | |
| 18 | | ○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている | 日常生活を共に協力して、(掃除、調理など)行っています。 | | |
| 19 | | ○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている | 入居者と家族の関係を理解し、受診の時の付き添い、家族との時間をもうけるために外出、外泊をして頂くようにしています。 | | |
| 20 | 8 | ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている | 兄弟、親類、友人の方々が面会に見えたり、出向いたりしています。 | これまでの人間関係や、馴染みの場所との関係が継続出来るように心掛け、友人の来訪や自宅に遊びに行ったり正月に外泊するなど支援に努めています。 | |
| 21 | | ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず、利用者が同士の関わり合い、支え合えるような支援に努めている | 各棟で友人を作り、食事などして交流している。希望によって風呂、就寝と一緒に行動したりしている。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|--------------------------------------|------|--|---|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 22 | | ○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている | 連絡を取り現在の状況を訪ね相談にも応じてます。 | | |
| III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 23 | 9 | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | 本人の希望を聞き、計画書を作成し同意を得るようにしています。 | 日頃の関わりの中から言動で希望や意向について把握するように努め、把握が困難の場合には家族等から情報を得て、利用者の意向に配慮しています。 | |
| 24 | | ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている | 家族には、本人の情報を詳しく記述して頂くようにしています。 | | |
| 25 | | ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている | 毎日の生活状況を記録簿に記入して状態を確認している。 | | |
| 26 | 10 | ○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | 情報をもとに利用者に応じた計画の作成に努めている。 | 介護計画は担当者と職員が日頃の関わりの中から得た情報を基に、利用者・家族の意向を取り入れ、その人らしい暮らしを支えるための具体的な介護計画を作成しています。 | |
| 27 | | ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている | 記録、スタッフからの情報をもとに、ケアマネジャーを中心に相談し対応しています。 | | |
| 28 | | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる | 家族、利用者の希望などに即座に対応するように努めている。 | | |
| 29 | | ○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している | 太陽の丘などに出かけて行くなどしています。 | | |
| 30 | 11 | ○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | 受診予定表を作成しスタッフが医師に状況を伝えるようにし、薬等が変更になったりしたときは、家族への報告に努めている。 | 利用者・家族の希望するかかりつけ医で、受診日は予定表を作成し、職員が受診支援に努め、利用者の状態に応じて家族も同行しています。個人の看護師と契約し、週1~2回の訪問と24時間体制を整えています。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----------------------------------|------|---|---|--|--|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 31 | | ○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している | 看護師訪問の時には、利用者の変化を報告し相談している。 | | |
| 32 | | ○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | 利用者の状態を伝え、入院後は家族が中心にはなるが、当ホームでも家族と相談し協力させて頂いている。 | | |
| 33 | 12 | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域との関係者と共にチームで支援に取り組んでいる | 入居の時も、入居してからも随時家族の方々とお話し理解して頂いています。 | 契約時に、看取りについては事業所で出来ないことを家族に説明し、理解を得ています。重度化が見られた場合はその都度家族、かかりつけ医等と話し合い、支援に取り組んでいます。 | |
| 34 | | ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている | 訓練はしていませんが、緊急時の連絡網を掲示し、応急手当等のマニュアルなどはいつも見える所に置いてあります。 | | |
| 35 | 13 | ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている | 年2回火災訓練を行い、研修会にも参加しています。(研修会参加したスタッフ中心に訓練を実施しています) | 年2回、消防署の協力の基、日中・夜間を想定した避難訓練と防災研修に参加した職員による搬送法の訓練を実施しています。また、結果を踏まえて車いす対応等の誘導方法を確認しています。緊急連絡網には地域住民4名の協力が得られています。 | 今後も地域の方達に利用者を避難させるための協力の必要性を伝え、理解して貰える工夫と、日中・夜間だけではなく、色々な場面を想定した訓練の実施や災害時の持ち出しリストの整備に取り組むことを期待します。 |
| IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 36 | 14 | ○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている | 常に注意するように伝え聞かせていますが、まだまだ、十分な対応ではないと思っています。 | 施設長、管理者は職員へ守秘義務の徹底を図り、個人情報の取り扱いについては家族と同意書を交わしています。職員は利用者一人ひとりの尊厳に配慮した声かけ、対応に努めています。 | プライバシーを保つためには、個人ファイルやトイレ内のパット類の個人名がわからないよう配慮する工夫を期待します。 |
| 37 | | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている | 担当者を決めて利用者の声を聞くように努めています。 | | |
| 38 | | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 利用者優先での生活を心がけているつもりですが、まだ、十分な対応が出来ているとは思っていません。利用者とのコミュニケーションが必要だと思っています。 | | |
| 39 | | ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している | 2ヶ月おきに美容師を頼んだり、日常生活の中では、利用者と一緒に身の回りの片付けをするようにしています。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|--|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 40 | 15 | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | 食材の購入も利用者と一緒に買い物に行き、片付けも手伝って頂いています。 | 施設長が栄養バランスに配慮した献立を作成し、食材の買い物や下ごしらえ、盛りつけ、茶碗洗い等を職員と利用者が一緒に行っています。職員と一緒に食べることで会話を広げ、楽しむことが出来るよう取り組んでいます。 | |
| 41 | | ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 各自の状況を記録に記入し、不足の時は速やかに対応しています。 | | |
| 42 | | ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている | 食後は、口腔ケアをしています。自分でできない方には、スタッフが支援しています。 | | |
| 43 | 16 | ○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている | 排泄も記録に記入しています。自立している方には見守り、支援の方には、時間に応じて声かけし誘導しています。 | 生活リズム、パターン表を活用し、利用者一人ひとりに応じた声かけ、誘導をすることで、トイレで排泄できるよう支援しています。また、おむつ使用時も、時間を見て交換し、利用者の身体状況に配慮した対応に努めています。 | |
| 44 | | ○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる | 排便回数など記入し、下剤を投与していません。毎日、乳酸菌(ヨーグルト)を摂取しています。 | | |
| 45 | 17 | ○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている | 毎日入浴できるようにし、各自の入浴日も記入しています。希望があれば随時対応しています。 | 入浴はいつでも可能で、毎日入浴する利用者や週2~3回は入浴できるよう支援しています。入浴拒否がある場合は声かけ等の工夫をし、利用者が入浴を楽しめるよう配慮しています。また、利用者の状況に応じてシャワー浴、足浴、清拭等に対応しています。 | |
| 46 | | ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している | 大まかな消灯時間はありますが、利用者に応じて対応しています。 | | |
| 47 | | ○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている | 服用する薬はスタッフが管理し、毎回用意させて頂いています。処方箋も個人別にし、スタッフがいつも見ることが出来るようにしています。 | | |
| 48 | | ○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている | 毎月のカレンダーづくり、つけもの作り、餅つきなど季節に合わせて行事を行っています。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|--|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 49 | 18 | ○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している | 高齢化して外出も思うようにいかないのですが、散歩、買い物など出かけるようにしています。 | 天気や体調に考慮しながら、散歩や買い物、ドライブに出掛け、一人ひとりが楽しめるよう取り組んでいます。冬期間も車での買い物や外気浴など、戸外に出る機会を作り、気分転換として活かしています。 | |
| 50 | | ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している | 家族の了解のもと、小遣いを預かり利用者と一緒に買い物に出かけています。小遣い帳も作り記入しています。 | | |
| 51 | | ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている | 利用者の希望があれば随時対応しています。 | | |
| 52 | 19 | ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 加湿器、空気清浄機を設置している。 | 1号棟、2号棟を結ぶ通路が完成し、相互交流を図っています。キッチン是对面式で居間兼食堂は明るく開放感があり広々とした空間で、手作りのカレンダーや季節の飾り付け、ありがとう通信を掲示し、家庭的な落ち着いた雰囲気になっています。また、加湿器や空気清浄器を設置し、快適な環境を提供しています。 | |
| 53 | | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている | 開放室を設けている。 | | |
| 54 | 20 | ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | 入居の時、自宅で使用した家具など使い慣れた物を持参して頂くように説明しています。 | 居室には利用者の使い慣れたタンスやベッド、ぬいぐるみ等が持ち込まれ、今までの生活を大切にした支援に取り組んでいます。 | |
| 55 | | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している | 各自の居室に名札を付け、トイレなどの場所には目印を付けたりしています。 | | |